

(1) 実施機関名：

産業技術総合研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）活断層データベースの整備と公開

（英文）Update and release of the Active Fault Database of Japan

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

(4) その他関連する建議の項目：

1 地震・火山現象の解明のための研究

(1) 史料・考古・地形・地質データ等の収集と解析・統合

ウ. 地形・地質データの収集・集成と文理融合による解釈

(5) 本課題の5か年の到達目標：

全国に分布する約600の活断層（活動セグメント）の活断層線と約2万点の調査地情報について、位置精度向上の作業を完了させ、その結果を公開する。また、これらの作業結果及び新たに発表された研究論文や報告書の内容に基づき、それぞれの活動セグメントの代表パラメータの見直しを行う。

(6) 本課題の5か年計画の概要：

令和6年度には、約20断層と約400地点の位置精度を確認・更新する。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和7年度には、約200断層の活断層線と約5000地点の調査地の位置精度を向上させる。また、位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和8年度には、約200断層と約5000地点の位置精度を確認・更新する。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和9年度には、約100断層の活断層線と約5000地点の調査地の位置精度を向上させる。これまでに位置精度向上の作業が完了したものを、順次、活断層データベース上で公開する。

令和10年度には、活断層データベースに収録されているすべての活断層について、詳細な活断層図を活断層データベース上で公開する。

(7) 令和7年度の成果の概要：

・今年度の成果の概要

活断層データベースに表示される活断層図について、従来の縮尺約20万分の1からより詳細な縮尺約5万分の1で表示できるように、収録データの位置情報の精度向上にかかる作業と表示システムの改良を実施した。調査地の位置情報については、九州地方及び瀬戸内地方（福岡県・山口県・広島県）で実施された活断層調査の調査地809地点について位置精度の確認と改善作業を実施した。活断層線については、同地域（福岡県・山口県・広島県）に分布する22断層の位置精度の確認と改善作業を実施した。前年度にデータの更新作業を実施した近畿地方（大阪府周辺）の活断層（20断層）について、背景地図に2.5万分の1地形図等を表示させることができる活断層図を2025年6月に活断層データベース上で公開した。そのほか、「歴史地震」及び「最近の地震」の収録データと「サイトマップ・検索

経路図・使い方」の更新作業を行なった。

・「関連の深い建議の項目」の目的達成への貢献の状況と、「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望

令和6年能登半島地震のような大きな地震が発生したときには、その震源断層に関する情報やこれまでの研究成果へすぐにアクセスできることが重要である。建議の「観測基盤と研究推進体制の整備」で掲げられている地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開の一課題として、今後も計画的・継続的にデータベースの整備を進めていく。

(8) 令和7年度の成果に関連の深いもので、令和7年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

・論文・報告書等

吾妻 崇・中井未里・清水日奈子・丸山 正, 2025, 2024年度における活断層データベースの整備, 令和6年度 防災・減災のための高精度デジタル地質情報の整備事業報告書, 地質調査所総合センターNo.87, 89-93., 査読有, 謝辞無

・学会・シンポジウム等での発表

(9) 令和7年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報：

項目：ソフトウェア開発（データベース）

概要：活断層調査に関する情報および活断層の特性パラメータを集約したデータベース。令和7年度には、大阪府周辺の詳細活断層図を追加。

既存データベースとの関係：活断層データベース <https://gbank.gsj.jp/activefault/>

調査・観測地域：

調査・観測期間：

公開状況：公開中（データベース・データリポジトリ・Web） <https://gbank.gsj.jp/activefault/>

(10) 令和8年度実施計画の概要：

九州地方及び瀬戸内地方の活断層調査地点（約800地点）を対象として、位置精度向上の作業を実施するとともに、これらの調査地を含む活断層（約20断層）について活断層線の位置精度を向上させる。令和7年度に位置精度向上の作業が完了した活断層（22断層）について、縮尺5万分の1程度の活断層図を活断層データベース上で公開する。

(11) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

吾妻 崇（活断層・火山研究部門）、丸山 正（活断層・火山研究部門）、中井未里（活断層・火山研究部門）

他機関との共同研究の有無：無

(12) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門

電話：

e-mail：af-db-ml@aist.go.jp

URL：<https://gbank.gsj.jp/activefault/>

(13) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：吾妻崇

所属：産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門